

# 同志社国文学

第 68 号

- 額田王「春秋競憐歌」の一解釈……………山本直子(1)
- 「弓削皇子思<sub>二</sub>紀皇女<sub>一</sub>御歌四首」の伝来……………駒木敏(12)  
———九番歌・一二一番歌の解釈をめぐって——
- 俳諧を知らざる新聞記者……………青木亮人(24)  
——同時代評の俳人子規像——
- 「美術」をめぐる〈物語〉……………西川貴子(36)  
——幸田露伴「帳中書」を軸として——
- 紀行文の書き換えと文体の楽しみ……………熊谷昭宏(49)  
——明治四〇年前後の遅塚麗水の紀行文を中心に——
- 中島敦にとっての〈南洋行〉……………杉岡歩美(63)  
——昭和初期南洋という「場」——
- 伝賀茂真淵撰『源氏物語十二月絵料』(解題)……………岩坪健(76)
- 社説における外来語の広範囲語彙……………橋本和佳(84)

2008・3

同志社大学国文学会